

14 新たな時代の人づくり推進プロジェクト

概要

本県の将来を担い、未来を切り拓いていく若者たちが、困難な課題に果敢に挑戦し、乗り越えていく力を備えることができるよう、市町、学校、地域、関係する施設や団体、企業等と連携・協働しながら、新たな時代に対応した人づくりを推進する

重点策

- 46 生涯にわたる人づくりの基礎を培う取組の推進
- 47 ふるさと山口への誇りと愛着を高める取組の推進
- 48 新たな価値を創造する力を育む取組の推進
- 49 誰にも等しくチャレンジの機会を創る取組の推進
- 50 地域や時代のニーズに対応し、チャレンジのための環境を整える取組の推進
- 51 新たな時代の人づくりを支える体制の充実
- 52 豊かな心、健やかな体の育成

(1) 成果指標の状況

成果指標	進捗状況	指標数	主な指標
	★★★★★(目標を達成)		
	★★★★ (計画を上回る)	1	全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の県平均点(公立小・中学校)
	★★★ (ほぼ計画どおり)	1	学習者用端末を活用した学習活動に、情報活用能力の向上に効果があると感じている生徒の割合
	★★ (計画を下回る)	1	大学等が実施するPBL取組件数
	★ (計画から大幅に遅れ)	6	県主催の保育者対象の研修会等において研修の目標が達成できた参加者の割合 等

(2) 県民実感に係る調査結果

調査区分	調査項目	そう思う	どちらともいえない	そう思わない
県民実感度調査(%)	山口県の将来を担う子ども・若者を育成する取組や教育環境の充実が進んでいると思いますか。	17.6	47.9	32.9

(3) 主な取組と成果

◆生涯にわたる人づくりの基礎を培う取組の推進

- 山口県乳幼児の育ちと学び支援センターの取組の周知や研修形態の工夫等により、設置当初より、**全研修会数約 1.7 倍、全研修受講者数 1.3 倍、幼児教育アドバイザー等の訪問・研修回数約 2.2 倍、参加人数約 1.9 倍**に増加。

- 保育所・幼稚園等における**多様性に配慮した施設等の整備**を推進。(R5～)

◆ふるさと山口への誇りと愛着を高める取組の推進

- **県内の専門分野で活躍する大人**から、キャリアを通じた経験や志の持ち方を学ぶことにより、**大人との協働によるナナメの関係**を築く小中学生向けのプログラムを実施。(R7 開催回数 5 回)

- 山口県に対する郷土愛や、地域社会に貢献する意識を醸成するため、**地域での交流や活躍の場となる「サードプレイス」のモデル事業**を実施し、若者の県内定着やふるさと回帰を促進。(R7 周南市)

- 全国に先駆けて全ての公立学校に導入したコミュニティ・スクールの強みを生かして、**山口県ならではの地域連携教育**を全県下で展開し、小・中・高校生等の縦のつながりと

地域・社会の大人との横のつながりを強化するとともに、全国でも例のない、**千人もの子どもや大人が一堂に会した地域の未来に向けた熟議**を実施。

◆**新たな価値を創造する力を育む取組の推進**

- 山口大学、山口県立大学及び山口学芸大学が設立した「**一般社団法人やまぐち共創大学コンソーシアム**」において、3大学共通の SPARC 教育プログラムを開発し、令和8年度からは、当該プログラムの授業科目を高校在学中に履修可能となる「**やまぐち SPARC 先取り履修**」を開始。
- **グローバル人材の育成**に向けて、他国の社会や文化等を体験するグローバル探究プログラム等を含む東部地域グローバル人材育成事業を実施するとともに、**ハワイ州教育局との教育分野の協力に関する覚書に基づいた学校間交流**を実施。
- 高校生への**短期留学経費の支援**及び**米国スタンフォード大学と連携**した英語による発信力の向上や国際感覚の涵養等を図る取組を実施。(R7 参加数 短期留学 19 名参加、スタンフォード e-Yamaguchi プログラム 30 名)
- **I C T活用コンテスト**や、**A I イノベーター育成講座**を開催し、**I C Tスキルの向上**や**トップレベルの人材をめざす意識を醸成**。(R7 参加数 高校生 I C T活用コンテスト応募件数 59 件、U18 デジタルアートコンテスト応募件数 154 件、ジュニアプログラマーコンテスト応募件数 124 件、A I イノベーター育成講座受講生徒数 31 名)
- 高校生を対象に、**地域医療や地域課題をテーマとしたセミナーや先端研究を体験するプログラム**、**ハイレベル課外授業**等を実施し、医学部進学を希望する高校生等、**志の高い高校生が切磋琢磨して学び合う機会**を充実。(R7 参加数 メディカル・フロンランナー育成コース 47 名、アドバンスト・フロンランナー育成コース 35 名)
- 高校生が地域課題を発見し、その解決に向けて取り組む力を育成するため、**大学生や社会人と協働して実践型探究を行い、その活動を振り返りながら互いに学びあうプログラム**を実施。(R7 参加数 19 校、42 プロジェクト、111 名)

◆**誰にも等しくチャレンジの機会を創る取組の推進**

- **1人1台端末を活用した小中学校における日本語指導**を充実させるとともに、各市町が配置する日本語指導補助者や支援員等による日本語教育サポート等を支援。(R7 オンライン日本語指導による受講者 14 校 22 人)
- 経済的な理由で修学が困難な学生が自らの「志」に基づき学びを追求できるよう支援するとともに、県内で活躍する人材の確保を促進するため、**奨学金返還補助制度**の活用を推進。

◆**地域や時代のニーズに対応し、チャレンジのための環境を整える取組の推進**

- 「**山口県立大学将来構想**」に掲げる「地域・企業・高校等との連携強化」のうち、**高大連携の推進・強化**に向け、**附属周防大島高校**を令和8年4月に開校。
- **総合支援学校における地域交流スペース**を活用したカフェ運営や販売活動等の成果を生かし、児童生徒が**地域や社会とのつながりを実感できる実践的・体験的学習活動**を拡充。(R7 実施校 8 校)
- **全ての総合支援学校**において、近隣の**小・中・高等学校等のコミュニティ・スクールと連携した取組**を拡充。
- 学校から子どもたちが地域に出かけ、**人と人とのつながりを強化するプロジェクト**を県内全市町教育委員会と連携して実施。
- **県立高校等**が広く社会と連携した**学校・地域の課題解決を図る取組**を実施し、開発した「総合的な探究の時間」のカリキュラムを横展開。

- 「**県立高校再編整備計画 前期実施計画**」に基づく**県立高校の再編整備**を推進するとともに、再編整備に伴う**必要な施設整備に係る設計業務が完了**し、随時、工事に着手。（R7 設計完了 4 件、工事着手 1 件）
- **県立学校**に接続する通信回線の切り替えによる**ネットワークの高速化**。

◆**新たな時代の人づくりを支える体制の充実**

- **山口県学力定着状況確認問題を CBT で実施**し、個別の学力の定着状況等の蓄積（学びの履歴）や、採点・集計業務の効率化を引き続き実施。
- カリキュラム・マネジメントの推進・充実を図るため、「**カリキュラム・マネジメントの手引き（実践編）**」の活用を推進。
- 教員採用試験の改善や教職員人材育成基本方針の改定など、**教員養成・採用・研修の一体的取組**を順調に推進。（R7 検討協議会 3 回開催）
- **東京大学先端科学技術研究センターの最先端の学術的知見やノウハウを活用**したプログラム等を実施することにより、推進方針に沿った取組を効果的に推進。（R7 LEARN in やまぐち 2 プログラム）
- **民間団体等**が推進方針に沿って実施する学校や企業等と**連携・協働して行う新たな取組**を支援。（R7 補助採択件数 10 団体／申請数 21 団体）
- **ウェルビーイングの観点に着目した人づくり**を様々な学びの現場に広げるため、子ども・若者向けのワークショップや、学校や保育の現場で取り組むファシリテーター育成プログラムを実施。（R7 子ども・若者向け 3 回、ファシリテーター向け 3 回実施）

◆**豊かな心、健やかな体の育成**

- 在籍する学級での学習や集団での生活が困難となった児童生徒のための教室「**ステップアップルーム**」を中学校に加え新たに小学校に設置し、専属教員（サポート教員）による個別支援を実施。
- 学校・市町教育委員会・県教育委員会が一体となって、バランスのとれた体力向上をめざす「**体力向上維新プロジェクト**」を推進するとともに、**教員の指導力向上**に向けた各種研修会等への参加促進、**体育授業マイスター及びアスリート等の積極的な活用**により学校体育の充実を推進。
- 博物館や図書館等の社会教育施設において、**デジタル技術を活用した鑑賞機会の拡大や電子図書サービスを充実**。（R7 博物館所蔵資料のデジタル・アーカイブ化 207 件（累計 2,023 件）、図書館における電子書籍導入 395 点（累計 5,548 点・冊））
- これまで実施してきた長期自然体験活動に加え、周防大島町で**地域の魅力を体験し、学ぶ短期自然体験プログラムを実施**し、子どもたちの非認知能力を向上。

（４）総評

子ども・若者一人ひとりの発達の段階や個性・興味・理解度等に応じた多様な学びを提供するとともに、地域の課題解決等を通じてふるさと山口に誇りを持ち、地域に積極的に関わることのできる機会を創出しているところであるが、今後は更に校種を超えた連携や、地域の企業、団体等が協働・共創することにより、教科等の枠組みにとらわれない広い視点での探究的な学びを、多様な主体が一丸となって一層深化させ、「やまぐち PRIDE」をもつ地域の創り手の育成を図ることが必要である。

(5) 課題と今後の展開方向

◆生涯にわたる人づくりの基礎を培う取組の推進

- 「山口県乳幼児の育ちと学び支援センター」と山口県立大学の「子ども家庭ソーシャルワーク教育研究所」との連携及び園の特性に応じた効果的な園内研修に向けた助言や訪問支援を実施することに加え、研修内容の充実や振り返りの質の向上に取り組み、現場のニーズや今日的課題に対応した研修会を企画することで、保育者の専門性を向上させる必要がある。
- 幼児期の教育と小学校教育の接続の促進に向け、保幼小連携の体制整備や研修会の開催に取り組む必要がある。
- 生涯にわたる人格形成の基礎を培う乳幼児期の教育・保育の場において、誰もが等しく育ち、学び、遊べる環境を作るため、多様性に配慮した施設等の整備を推進する必要がある。
- 安定的な人材の確保を図るため、保育士等のキャリアパスを見据えた体系的な研修等を実施する必要がある。

◆ふるさと山口への誇りと愛着を高める取組の推進

- 子どもたちが、ふるさとを大切にする気持ちをもって、主体的に地域づくりに参画しようとする「やまぐち PRIDE」を醸成するため、キャリア教育と地域連携教育を一体的に行い、地域との関わりの中で自己の在り方や生き方を考えさせる教育活動を推進する必要がある。
- これまで培ってきた本県ならではの地域連携教育の土台を生かしながら、より主体性に焦点をあて、子どもたちによる本県の未来への提案や、山口の魅力や強みを再発見・再構築し社会実装をめざす取組を推進することで、「地域の創り手」を育成する必要がある。
- 「大人の学び」を通して、大人と子どもがともに学び合う機会を創出し、地域で活躍している大人との触れ合いを通じて「あこがれの連鎖」につなげるとともに、あらゆる世代で「やまぐち PRIDE」を醸成する必要がある。
- 若者が、大学等に進学した後も、ふるさと山口のまちや人々とのつながりを途切れさせることなく、自分と山口との関わり方を見つけ出す機会を創出する必要がある。

◆新たな価値を創造する力を育む取組の推進

- 大学や産業界等が連携し、データサイエンスや PBL、アントレプレナーシップ教育など、時代や社会の変化に対応した教育プログラムを充実させることにより、地域が求める人材の育成を進める必要がある。
- グローバル人材に必要とされる総合的な英語力に加え、国際協調・協力を実践する態度等を育む教育活動を一層推進するとともに、世界に向けた広い視野と地域の身近な問題を意識する視点の両方をもつ人材の育成に向け、探究機会を一層充実させる必要がある。
- コミュニティ・スクールを核として、障害及び障害者理解を深めるために、地域住民や大学・企業等の参画を得て実施する交流及び共同学習を推進するとともに、地域交流スペースを活用したカフェ運営や販売活動等の実践的・体験的な学習活動を全学部で更に推進していく必要がある。
- 志のある若者が取り組む地域の課題解決やアイデアの実現を支援することにより、将来の山口県をリードする人材を育成する必要がある。

◆誰にも等しくチャレンジの機会を創る取組の推進

- 人材が不足している農業や介護福祉分野をはじめ、障害のある生徒が将来の担い手として活躍できる職種の拡大を図るとともに、特別支援学校における実践的な職業教育を一層充実させる必要がある。
- 高等学校等において、必要とするすべての生徒が特別支援教育を受けることのできる体制

整備と通級による指導の質的・量的内容の充実を図っていく必要がある。

- 障害のある幼児児童生徒が自らの能力を最大限に発揮できる環境づくりに向け、生成 A I の活用を含む「特別支援教育 D X」を加速化する必要がある。

◆地域や時代のニーズに対応し、チャレンジのための環境を整える取組の推進

- 県立学校の再編に必要な施設整備と、施設の老朽化対策や防災機能の強化、教育環境の向上に向けた施設整備を一体的に取り組み、安心・安全で質の高い魅力ある教育環境づくりを推進する必要がある。
- 各私立学校において特色ある教育を推進するため、教育条件の維持・向上や生徒に係る修学上の経済的負担の軽減、環境整備等の支援の充実を図る必要がある。
- 山口県立大学において、附属高校の設置による高大 7 年間の一貫した人材育成の推進など、高大連携の推進・強化により、本県が必要とする人材の育成や若者の県内定着を図っていくとともに、「地域貢献型大学」として、地域・企業等との共創を更に推進する必要がある。
- 家庭や地域との連携・協働を基盤として、「学校の組織力の充実」「教員の授業力の向上」「学校・家庭・地域の連携力の強化」の 3 つの方針により教育活動の更なる充実を図り、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた体制づくりと授業改善を推進する必要がある。
- 大学生等の若者世代が地域連携教育に参画しやすい環境づくりを進めるなど、地域に愛着を持ち、地域の課題解決に主体的に参画する人材を育成し、「やまぐち PRIDE」の醸成に資する、学校と家庭、地域・社会が連携・協働した教育・人づくりを推進する必要がある。

◆新たな時代の人づくりを支える体制の充実

- 人づくりに取り組む行政、企業、学校、関係団体等が、取組成果や課題を共有することでその効果を高めることができるよう、連携しやすい環境を創出する必要がある。

◆豊かな心、健やかな体の育成

- いじめ・不登校等の生徒指導上の諸課題への早期解決に向け、外部専門家や関係機関等と連携した相談・支援体制の強化により、いじめの未然防止や早期発見・早期対応、相談・支援体制の強化、不登校児童生徒の学びの場の確保に向けた取組を推進する必要がある。
- 児童生徒の体力向上や運動習慣の改善に向け、スポーツ医・科学の専門家との連携や、I C T を効果的に活用した授業改善、WEB を活用した啓発活動など、学校・家庭・地域が一体となって、体力向上に向けた取組を推進する必要がある。

(参考) 令和 8 年度の主な新規・拡充取組

拡 幼稚園人材確保総合対策事業

幼稚園人材の安定的な確保と幼児教育の質の更なる向上のため、私立幼稚園が実施する処遇改善や一種免許状の取得促進等を支援

新 つながり創出！やまぐち探究人材育成事業

ふるさと山口の魅力や課題に向き合い、実現したい山口の未来について考える探究プログラムを通じて、山口とのつながりを深める機会を創出

新 やまぐち創生！「地域の創り手」育成推進事業

「やまぐちPRIDE」の醸成に向け、次代を創る子どもたちのふるさと山口への誇りと愛着を高めるとともに、豊かな人生を主体的に切り拓いていく「地域の創り手」を育成する。

新 山口ならではの自然体験活動推進事業

山口ならではの豊かな自然の中で、山口ならではの教育手法を用いた自然体験活動を推進し、子どもたちのふるさとへの誇りと愛着や、主体性をはじめとした「生きる力」の向上を図る。

拡 不登校対策のためのステップアップルームの取組強化

小・中学校において、在籍する学級での学習や集団での生活が困難となった児童生徒のための教室「ステップアップルーム」に、指導経験豊富な専属教員（サポート教員）を配置する。

拡 スクールソーシャルワーカー（SSW）による支援体制の強化

困難な問題を抱える児童生徒の環境への働きかけや関係機関との連携・調整を図るとともに、市町配置の SSW への指導・援助を行う。

拡 公立大学法人山口県立大学関連事業

山口県立大学及び4月開校の県立大学附属周防大島高校を設置・管理する「公立大学法人山口県立大学」に対して運営費の交付等を行うことにより、自主的・自律的な大学運営を支援

拡 やまぐちスマートスクール構想2.0推進事業

地域のエンジニアや大学生等との連携による「高校生向けシビックテック・コミュニティ」の運営等を通じてデジタル人材の育成を図る。

拡 県立高校空調整備関連事業

県立高校の空調整備の早期完了に向け、恒常的に使用する特別教室の整備を前倒して実施する。